

財務比率(法人全体)

【貸借対照表関係比率】

比率	計算式 (単位 百万円)	平成30年度	平成29年度	平均	評価
1 固定資産構成比率	固定資産／総資産	91.9	91.6	85.9	低い値が良い
2 有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	91.6	91.2	59.3	高くなりすぎると注意が必要
3 その他の固定資産構成比率	その他の固定資産／総資産	0.3	0.3	22.9	高い値が良い
4 流動資産構成比率	流動資産／(総負債＋純資産)	8.0	8.3	14.1	高い値が良い
5 固定負債構成比率	固定負債／(総負債＋純資産)	23.8	22.9	8.7	低い値が良い
6 流動負債構成比率	流動負債／(総負債＋純資産)	14.5	14.3	5.7	低い値が良い
7 内部留保資産比率	(運用資産－総負債)／総資産	△ 31.2	△ 29.8	23.0	高い値が良い
8 運用資産余裕比率	(運用資産－外部負債)／経常支出	△ 61.8	△ 65.6	1.4	高い値が良い
9 純資産構成比率	純資産／(総負債＋純資産)	61.5	62.7	85.6	高い値が良い
10 繰越収支差額構成比率	繰越収支差額／(総負債＋純資産)	△ 111.6	△ 105.4	△ 18.6	プラスであることが望ましい
11 固定比率	固定資産／総資産	149.4	146.1	100.4	低い値が良い
12 固定長期適合率	固定資産／(純資産＋固定負債)	107.6	106.9	91.1	100%以下で低い値が良い
13 流動比率	流動資産／流動負債	54.9	58.4	246.1	高い値が良い
14 総負債比率	総負債／総資産	38.4	37.2	14.4	低い値が良い
15 負債比率	総負債／純資産	62.4	59.4	16.9	低い値が良い
16 前受金保有率	現金預金／前受金	133.6	142.0	371.8	高い値が良い
17 退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	0.0	0.0	57.5	高い値が良い
18 基本金比率	基本金／基本金要組入額	92.4	96.0	97.1	100%に近いことが望ましい
19 減価償却比率	減価償却累計額(図書を除く)／減価償却資産取得価額(図書を除く)	53.6	52.3	51.2	どちらとも言えない
20 積立率	運用資産／要積立額	7.0	7.7	72.6	高い値が良い

- (注1) 1.運用資産＝特定資産＋有価証券(固定資産)＋有価証券(流動資産)＋現金預金
 2.外部負債＝借入金＋学校債＋未払金＋手形債務
 3.要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋第2号基本金＋第3号基本金
 4.運用資産余裕比率の単位は(年)である。

(注2) 平均は「平成29年度版 今日の私学財政 大学・短期大学編」に記載されている財務比率によっております。